

社会資本総合整備計画

「四方よし」をめざす首都圏横断観光活性化計画
(山梨県)

令和 8 年 2 月

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和08年02月05日						
計画の名称	「四方よし」をめざす首都圏横断観光活性化計画													
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	山梨県													
計画の目標	埼玉県、茨城県、山梨県は東京都を中心とした首都圏の中央に隣接する形で位置しており、広域的交通インフラの整備が進められてきている。近年では、埼玉県と茨城県を結ぶ圏央道（首都圏中央連絡自動車道）開通や埼玉県と山梨県を結ぶ国道140号のバイパス事業が進められており、3県のアクセス性は大きく向上している。また、この3県では、様々な観光拠点において、地域固有の資源を活かした幅広いコンテンツの育成・強化や広域的交通インフラを活かした圏域内外との交流・対流拡大に向けた受入環境の整備、情報発信などの取組みが進められている。これらの取組みに合わせて、3県を横断的に結ぶ圏央道、関越道、国道140号等を主軸とした各観光地へのアクセスルート形成に向けて必要な基盤整備事業をタイミング良く実施することにより、さらなる観光客を呼び込み、「旅行者・産業・地域・環境」の四者がハッピーになる“四方よし”の観光を実現し、広域的な地域の活性化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		700	A	700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6		R12
1	【山梨県・埼玉県・茨城県 共通目標】			
	【山梨県・埼玉県・茨城県 共通目標】観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数－R6の年間観光入込客数）／（R6の年間観光入込客数）	623万人	万人	661万人
2	【山梨県 単独目標】 観光入込客数190万人（R6）から202万人（R12）に増加（11万人（6％）の増加）			
	【山梨県 単独目標】茨城埼玉山梨広域観光圏域における山梨県内の観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数－R5の年間観光入込客数）／（R5の年間観光入込客数）	190万人	万人	202万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0％となる。												
○その他事項については（参考様式2）整備計画関連事項に記載。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	山梨県	直接	山梨県	国道	改築	（国）140号（三富川浦工区）	路肩改良 L=5.0km	山梨市						500		-	
	A11-002	道路	一般	山梨県	直接	山梨県	都道府県道	改良	（主）塩山勝沼線（塩山牛奥工区）	舗装改良 L=2.0km	甲州市						200		-	
												小計						700		
											合計						700			